

平成30年度 財団せせらぎ 助成金使用報告書

所属	東京大学大学院医学系研究科 精神保健学分野	助成金額	300,000 円								
氏名	帯包 エリカ										
研究や活動等のテーマ（申請書に記入した内容を記入すること。）											
産後女性へのスマートフォンを利用した小児虐待予防：ランダム化比較試験											
助成金の使用実績の概要（日本語で記入すること。図・グラフ等の記載は必須ではない。）											
<p>【研究背景と目的】</p> <p>小児期の虐待は身体的、精神的な影響を及ぼし、その影響は成人期にも至る大きな社会問題である。また、小児期の虐待と関連する病気として産後うつ病があり、近年インターネットを利用した行動活性化療法が有効であることが示されている。本研究は、英国の産後女性向けの行動活性化療法プログラムを基に、スマートフォン向けの日本語版行動化療法プログラム（スマートママ）の開発を行い、プログラムが母親のうつ症状に対する効果および子どもに対する虐待関連行動に対する効果をランダム化比較試験で評価を行うことを目的としている。</p> <p>【研究概要】</p> <p>令和元年10月より、総合病院産婦人科及び周産期母子医療センターの計2施設において、希死念慮がなく、スマートフォンの利用が可能な20歳以上の産後女性に10名に対して、パイロット試験を行った。協力機関での説明やリクルートの方法、メールアドレスの登録や同意取得の流れについて問題がないことを確認し、このうち2名に対しては電話でインタビュー調査を行った。パイロット試験で指摘を受けた意見を受けて、令和元年12月にプログラム内容の改善を行った。</p> <p>令和2年1月より同施設でランダム比較試験のリクルートを開始し、産後1か月健診を受診した産後10週以内の女性に対してリクルートを行い、治療群（プログラムを受ける群）と対照群（プログラムを受けない群）に割り付けを行い、現在、プログラム介入（各週1プログラム、全12回プログラム）を行っている段階である。</p> <p>助成金は、本プログラムの子どもへの効果を測定するために必要な質問票購入の費用、被験者に対する謝金（QUOカード）およびそれに伴う郵送料、ICレコーダー購入に使用した。今後は、ランダム化比較試験のプロトコル論文の投稿を行い、研究成果についても論文で公表を行う予定である。</p>											
助成金の使用金額及び使途											
<table border="0"> <tr> <td>QUOカード購入費（1,100円×220名+送料）</td> <td>229,570円</td> </tr> <tr> <td>日本語版PSI-SFロイヤルティ</td> <td>390件 42,900円</td> </tr> <tr> <td>ICレコーダー、通話録音用マイク</td> <td>5,034円</td> </tr> <tr> <td>郵送料（レターパック、切手、郵送料）</td> <td>23,496円</td> </tr> </table>				QUOカード購入費（1,100円×220名+送料）	229,570円	日本語版PSI-SFロイヤルティ	390件 42,900円	ICレコーダー、通話録音用マイク	5,034円	郵送料（レターパック、切手、郵送料）	23,496円
QUOカード購入費（1,100円×220名+送料）	229,570円										
日本語版PSI-SFロイヤルティ	390件 42,900円										
ICレコーダー、通話録音用マイク	5,034円										
郵送料（レターパック、切手、郵送料）	23,496円										
助成金を使用した成果に関レターパックする発表（インターネットに公表されている場合はURLを記載すること。）											
令和元年10月27日周産期メンタルヘルス学会でプロトコル発表（ポスター）											